

令和2年4月15日

就実大学・就実短期大学・就実大学大学院 学生各位

オンライン授業の受講方法について

教務課・情報センター

先にお知らせしたとおり、本学では令和2年度前期授業を原則すべてオンラインで開講することになりました。新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を深刻にとらえ、学生の皆さんの感染の可能性を最小にしながら学修の機会を提供するための措置です。

学生の皆さんには慣れない学修方法でご負担をおかけして申し訳ありませんが、対応をお願いいたします。

なお、オンライン化がどうしても不可能なごく少数の授業については、一部の授業回を少人数の対面授業で実施する場合や、やむを得ず今年度休講の措置を取る場合があることをご了解ください。対面授業の実施は例外的なケースに限られ、十分な感染防止対策を行ったうえで実施しますが出席を強制するものではありません。

1. オンライン授業とは

「オンライン授業」とは、本学の e-learning システム「WebClass」を中心にビデオ会議システム「Google Meet」（Google Hangouts）なども活用して、大学に出向くことなく自宅から受講する授業のことです。

オンライン授業には時間割表のコマ位置の時間帯に受講者が一齐にアクセスしてビデオ会議（テレビ会議）システム等を使ってリアルタイムに授業を行う「ライブ配信型」の授業形態と、録画された講義ビデオを好きな時間帯に視聴して課題提出等を行う「オンデマンド型」の授業形態があります。

2. 自宅の通信環境について

オンライン授業では通信量が多くなりますので、自宅通信量を気にせず使えるインターネット接続環境が必要です。光回線等の有線接続の回線とパソコン（できればカメラとマイクを装備したノートパソコン等）があれば理想的ですが、最低限スマートフォンでも受講可能です。

下宿生の皆さんの中にはスマホのモバイルデータ通信しか通信手段のない方もおられると思います。ドコモ、KDDI、ソフトバンク等携帯キャリア各社は、オンライン授業に対応するために学生に関して無償で通信容量を追加する緊急措置を発表しています。ひとまず4月末、もしくは5月末までの措置ですが、さらに延長される可能性があります。自分が契約している携帯キャリア各社のホームページなどで確認してみてください（オンライン学修を支援するための特別措置ですから、オンラインゲームなどの娯楽目的で使用するのをお控えください）。ただ、前期中全期間にわたってその措置が取られるかは未定ですので、できるかぎり安定した通信環境をご準備いただくようお願いいたします。また、資料の印刷が必要な時に自宅にプリンタがない場合にはコンビニ印刷等も検討してください。

なお、就実学園ではオンライン学修のための環境整備や資料印刷費等の一部支援策を準備しています。

詳細については別途お知らせします。

通信環境の整備がどうしても間に合わない場合には学内のパソコンを開放（S館情報教室のみ）しますので、電車の混雑時間帯を避けてマスク着用（手製のハンカチマスクでも結構です）のうえ来学してください。パソコンを使用する前後には手洗いや手の消毒をお願いします。学内には各所に手指消毒液が設置されています。友達と一緒に来て近距離でおしゃべりをするといったことがないようお願いします。できるだけ外出は避けるべき時ですので、利用は必要最小限にするよう努めてください。

3. 大学・短期大学のアドレスのメールの送受信について【重要】

2年生以上には入学の際にお配りしている「キャンパスガイド」にパソコンの利用に関する章があります。今年度新入生・編入生は「Gmail 操作マニュアル」が郵送されています。そこに Gmail のスマホへの設定の仕方が書かれていますので、新入生の皆さんも 大学から付与されているメール（○○○○@shujitsu.ac.jp のメールアドレス）がスマホで送受信できるように必ず設定しておいてください。

大学や担任教員からの連絡や、WebClass のメッセージ機能を使った授業担当者からの連絡も大学のメールアドレス宛に届きます。重要な連絡を見逃さないためにもメールが確認できるようにしてください。

なお、各授業に関する質問や相談は、WebClass のメッセージ機能を使って担当教員にメッセージ（メール）を送ることができます。ただ、今年度初めて WebClass を使う教員の場合は返信が遅れる場合があることをご了解ください。

4. 2種類のオンライン授業

4-1. 「ライブ配信型」

本学では学生・教職員全員が Google の Gmail アカウントを付与されていますので Google のテレビ会議システム「Google Hangouts Meet」を主として使用します（科目によって他のシステムを使用する場合もあります）。

オンラインで教員と受講者とがコミュニケーションをとりながらリアルタイムに講義やゼミを行う形です。授業後に WebClass で課題を提出する場合があります。また双方向でなく一方向のライブ授業配信の形式で行われる授業もあります。

meet の使用方法は「就実 e-Learning サポートページ」に学生向けのマニュアルがありますので参照してください。マニュアルにも記載がありますが、スマホで meet の授業に参加するためには「Google Meet」アプリの導入が必要です。事前にご準備ください。

就実 e-Learning サポートページ <https://swc.shujitsu.ac.jp/information/st.php>

※WebClass のマニュアルもここにあります。

4-2. 「オンデマンド型」

WebClass にアップロードされた講義ビデオを視聴して課題を提出することをもって一回の授業とする方法です。受講者は WebClass で指定された期間内の好きなタイミングでビデオ講義を視聴し、期限までに課題を提出します。

教員への質問や学生同士のディスカッションは WebClass のメッセージ機能や電子掲示板機能を使い

ます。

5. 1回目の授業について

4月22日～4月30日は第一回目の授業となります。4月20日までにWebClassの各コース上でどのような形で第一回目の授業が行われるかが告知されます。必ず、受講する科目の全てについて事前に各自で確認してください。

第一回目の授業については、上記の「ライブ配信型」「オンデマンド型」だけでなく、WebClassにアップされた授業のガイダンス資料を読んで課題を提出するという「課題提出型」で実施される科目もあることを承知しておいてください。

6. 授業計画の変更について

今回のオンライン化措置にともなって、ほとんどの授業ではシラバスの内容、授業計画や成績評価の方法等に変更が生じることをご理解ください。シラバスの変更については担当教員から授業内で説明することになっていますので、ご注意ください。

7. 問い合わせ先

受講方法に関する問い合わせはメールで kyoumu3@shujitsu.ac.jp までお願いします。

技術的なご相談は情報センター info@shujitsu.ac.jp までお願いします。

電話での問い合わせは 就実大学代表 086-271-8111 までお願いします。

学科のカリキュラムや学生生活、困りごとなどについては各担任教員や学科教員にメール等で質問してください。かまいません。

お問い合わせの際は、所属学科、学年、学籍番号、氏名を明記してください。回答にはお時間をいただく場合があります。

以上